



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月5日

上場会社名 ゼリア新薬工業株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4559 URL <https://www.zeria.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 伊部 充弘  
問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 西澤 知幸 TEL 03-3661-1039  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	64,773	11.8	10,246	8.0	10,661	12.9	8,226	△2.3
2024年3月期第3四半期	57,919	12.0	9,490	11.0	9,444	35.7	8,423	40.8

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 7,394百万円 (△50.7%) 2024年3月期第3四半期 14,999百万円 (15.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	186.63	—
2024年3月期第3四半期	191.09	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	156,580	85,238	54.3
2024年3月期	150,533	79,828	52.9

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 85,059百万円 2024年3月期 79,622百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	22.00	—	22.00	44.00
2025年3月期	—	23.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,500	14.2	12,000	24.7	12,000	41.0	9,000	16.4	204.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期3Q	53,119,190株	2024年3月期	53,119,190株
2025年3月期3Q	9,039,651株	2024年3月期	9,039,354株
2025年3月期3Q	44,079,624株	2024年3月期3Q	44,080,096株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	10
3. 補足情報 .....	11
(1) 主要製商品売上高 連結 .....	11
(2) 新薬パイプラインの状況 .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間の売上高は、647億73百万円（前年同四半期比11.8%増）となりました。利益につきましては、営業利益102億46百万円（前年同四半期比8.0%増）、経常利益106億61百万円（前年同四半期比12.9%増）となりました。一方で、前期は多額の特別利益を計上したこと、及び当期は法人税等が増加したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は82億26百万円（前年同四半期比2.3%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### ①医療用医薬品事業

主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」につきましては、国内市場においては2024年4月に実施された薬価改定の影響などを受け苦戦いたしました。海外市場において北欧などで好調に推移したことや為替の影響などにより、全体では増収となりました。「ディフィクリア」（国内販売名：「ダフクリア」）につきましては、フランス、ドイツ、イギリスなどの国で売上を大きく拡大いたしました。炎症性腸疾患治療剤「エントコート」（国内販売名：「ゼンタコート」）、機能的ディスペプシア治療剤「アコファイド」につきましては、ほぼ前年度並みとなりました。なお、2024年9月に高カリウム血症治療薬「ビルタサ」の国内における製造販売承認を取得し、販売開始に向けた準備を進めております。

これらの結果、当事業の売上高は、426億74百万円（前年同四半期比13.7%増）となりました。

#### ②コンシューマーヘルスケア事業

主力製品である「ヘパリーゼ群」につきましては、2024年10月に発売した新製品「ヘパリーゼWシャイン」の寄与もあり、コンビニエンスストア向けヘパリーゼW群が好調に推移いたしました。また、医薬品ヘパリーゼ群につきましても引き続き堅調に推移し、ヘパリーゼ群全体として売上は大幅に伸びました。植物性便秘薬「ウィズワン群」や、前年度に新製品「プレバリン $\alpha$ クイック軟膏」「プレバリン $\alpha$ クイッククリーム」を発売した皮膚疾患治療剤「プレバリン群」につきましても好調に推移いたしました。一方、「コンドロイチン群」につきましては微減となりました。

これらの結果、当事業の売上高は、219億75百万円（前年同四半期比8.5%増）となりました。

#### ③その他

保険代理業・不動産賃貸収入などにより、当事業の売上高は1億23百万円（前年同四半期比6.9%増）となりました。

### （2）当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は1,565億80百万円となり、前連結会計年度末対比60億46百万円の増加となりました。その内訳は流動資産が676億49百万円で、前連結会計年度末対比98億40百万円の増加、固定資産が889億30百万円で、前連結会計年度末対比37億94百万円の減少となっております。流動資産の増減の主なものは、現金及び預金の増加41億93百万円、受取手形及び売掛金の増加37億91百万円、商品及び製品等の棚卸資産の増加15億85百万円であります。また、固定資産の増減の主なものは、無形固定資産の減少25億88百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は713億41百万円となり、前連結会計年度末対比6億36百万円の増加となりました。その内訳は流動負債が568億51百万円で、前連結会計年度末対比23億33百万円の増加、固定負債が144億89百万円で、前連結会計年度末対比16億96百万円の減少となっております。流動負債の増減の主なものは、買掛金の増加12億38百万円、未払法人税等の増加16億75百万円、賞与引当金の減少6億38百万円であり、固定負債の増減の主なものは、長期借入金の減少15億24百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は852億38百万円となり、前連結会計年度末対比54億9百万円の増加となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上82億26百万円、前期末及び当中間期の配当の実施19億83百万円、退職給付に係る調整累計額の減少5億85百万円等によるものであります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末と比べ1.4%上昇し、54.3%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績動向を踏まえ、2024年11月5日発表の通期連結業績予想を下記の通り修正いたしました。

2025年3月期通期連結業績予想数値の修正（2024年4月1日～2025年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	86,000	11,000	11,000	8,500	192.83
今回修正予想（B）	86,500	12,000	12,000	9,000	204.18
増減額（B－A）	500	1,000	1,000	500	－
増減率（％）	0.6	9.1	9.1	5.9	－
（ご参考）前期実績 （2024年3月期）	75,725	9,621	8,513	7,731	175.39

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,323,724	24,517,550
受取手形及び売掛金	21,249,302	25,040,497
商品及び製品	7,569,173	8,929,553
仕掛品	1,842,077	1,965,998
原材料及び貯蔵品	5,078,508	5,179,679
その他	1,915,485	2,157,717
貸倒引当金	△169,241	△141,218
流動資産合計	57,809,029	67,649,778
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,607,334	6,448,054
土地	12,581,849	12,654,658
その他（純額）	7,328,652	7,082,843
有形固定資産合計	26,517,836	26,185,556
無形固定資産		
のれん	4,262,818	3,753,503
販売権	29,496,467	28,123,654
その他	9,380,420	8,674,433
無形固定資産合計	43,139,706	40,551,592
投資その他の資産		
投資有価証券	9,145,154	8,457,517
退職給付に係る資産	13,410,761	13,216,816
その他	552,538	551,782
貸倒引当金	△41,433	△32,827
投資その他の資産合計	23,067,020	22,193,288
固定資産合計	92,724,563	88,930,436
資産合計	150,533,593	156,580,215
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,273,950	4,512,675
短期借入金	38,283,719	37,712,094
未払法人税等	1,967,210	3,642,243
賞与引当金	1,584,737	945,812
その他	9,408,853	10,039,037
流動負債合計	54,518,471	56,851,864
固定負債		
長期借入金	7,943,800	6,419,790
退職給付に係る負債	458,109	525,265
資産除去債務	56,239	56,398
その他	7,728,181	7,488,212
固定負債合計	16,186,329	14,489,666
負債合計	70,704,801	71,341,531

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,593,398	6,593,398
資本剰余金	11,685,121	11,685,121
利益剰余金	59,254,325	65,497,439
自己株式	△18,265,810	△18,266,437
株主資本合計	59,267,035	65,509,523
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,001,571	1,832,924
為替換算調整勘定	14,660,305	14,608,813
退職給付に係る調整累計額	3,693,650	3,108,395
その他の包括利益累計額合計	20,355,527	19,550,133
非支配株主持分	206,229	179,027
純資産合計	79,828,792	85,238,683
負債純資産合計	150,533,593	156,580,215

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	57,919,196	64,773,402
売上原価	15,048,408	17,299,449
売上総利益	42,870,787	47,473,953
販売費及び一般管理費	33,380,055	37,227,903
営業利益	9,490,732	10,246,050
営業外収益		
受取利息	87,845	189,944
受取配当金	285,814	338,359
為替差益	—	300,761
償却債権取立益	92,935	—
その他	85,028	202,632
営業外収益合計	551,624	1,031,698
営業外費用		
支払利息	346,315	338,877
為替差損	142,536	—
持分法による投資損失	83,819	239,990
その他	24,746	37,646
営業外費用合計	597,417	616,515
経常利益	9,444,938	10,661,233
特別利益		
固定資産売却益	—	2,900
投資有価証券売却益	0	—
契約解除損失引当金戻入額	955,980	—
特別利益合計	955,980	2,900
特別損失		
固定資産除却損	6,693	8,114
投資有価証券評価損	198,726	203,700
特別損失合計	205,420	211,814
税金等調整前四半期純利益	10,195,499	10,452,318
法人税等	1,757,619	2,253,170
四半期純利益	8,437,879	8,199,148
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	14,548	△27,551
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,423,331	8,226,700

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	8,437,879	8,199,148
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,860,767	△168,647
為替換算調整勘定	5,163,209	△51,155
退職給付に係る調整額	△462,302	△585,254
その他の包括利益合計	6,561,675	△805,057
四半期包括利益	14,999,555	7,394,091
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,959,588	7,421,306
非支配株主に係る四半期包括利益	39,966	△27,215

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20－3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65－2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	37,548,081	20,255,184	57,803,265	115,930	57,919,196	—	57,919,196
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,377	109	11,486	483,506	494,993	△494,993	—
計	37,559,459	20,255,293	57,814,752	599,437	58,414,190	△494,993	57,919,196
セグメント利益	8,952,129	4,184,170	13,136,300	188,828	13,325,128	△3,834,396	9,490,732

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△3,834,396千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日 至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	42,674,238	21,975,205	64,649,443	123,959	64,773,402	—	64,773,402
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,490	109	5,599	419,754	425,353	△425,353	—
計	42,679,728	21,975,314	64,655,043	543,713	65,198,756	△425,353	64,773,402
セグメント利益	8,792,898	5,198,482	13,991,381	183,022	14,174,404	△3,928,353	10,246,050

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△3,928,353千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
減価償却費	4,674,348千円	5,106,720千円
のれんの償却額	550,174千円	534,082千円

## 3. 補足情報

## (1) 主要製商品売上高 連結

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	増減(△)率(%)
1. 医療用医薬品事業	37,548,081	42,674,238	13.7
アサコール	15,882,926	16,794,297	5.7
ディフィクリア	10,092,320	14,739,054	46.0
エントコート	3,910,148	3,937,218	0.7
アコファイド	2,384,276	2,346,432	△1.6
その他	5,278,408	4,857,235	△8.0
2. コンシューマーヘルスケア事業	20,255,184	21,975,205	8.5
ヘパリーゼ群	8,773,756	10,107,700	15.2
コンドロイチン群	4,452,297	4,370,769	△1.8
ウィズワン群	972,652	1,161,969	19.5
その他	6,056,478	6,334,766	4.6
3. その他の事業	115,930	123,959	6.9
合 計	57,919,196	64,773,402	11.8

## (2) 新薬パイプラインの状況

## I. 国内開発状況

(2025年2月5日現在)

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	起源
承認	ZG-801/ パチロマーソルピテクスカルシウム	ゼリア	高カリウム血症	陽イオン結合非吸収性 ポリマー	導入品
フェーズⅢ	Z-338/アコチアミド	ゼリア	小児機能的性ディス ペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅡ	ZG-802/アコチアミド	ゼリア	低活動膀胱	下部尿路機能改善作用	自社品

## II. 海外開発状況

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	起源
申請中 (ベトナム)	Z-338/アコチアミド	Pharmaceutical Joint Stock Company of February 3rd	機能的性ディスペ シア	上部消化管運動改善作用	自社品
申請中 (シンガポール)	Z-338/アコチアミド	United Italian Trading Corporation Pte. Ltd.	機能的性ディスペ シア	上部消化管運動改善作用	自社品(導出)
申請中 (コロンビア、 コスタリカ、パナマ、 ニカラグア)	Z-338/アコチアミド	Faes Farma	機能的性ディスペ シア	上部消化管運動改善作用	自社品(導出)
フェーズⅢ (欧州、米国、カナダ)	Z-338/アコチアミド	Agastra-Lab s.r.l.	機能的性ディスペ シア	上部消化管運動改善作用	自社品(導出)

## 発売となった開発品

発売日	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	起源
2024年3~11月 (エクアドル、ドミニカ 共和国、ホンジュラス、 エルサルバドル、チリ、 グアテマラ、ペルー)	Z-338/アコチアミド	Faes Farma	機能的性ディスペ シア	上部消化管運動改善作用	自社品(導出)
2024年9月 (タイ)	Z-338/アコチアミド	Meiji Seikaファルマ	機能的性ディスペ シア	上部消化管運動改善作用	自社品(導出)